

# 現在の男女共同参画を取り巻く時代の流れ

## 1. 男女共同参画とは

■「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」と定義（男女共同参画社会基本法第2条）

## 2. 国では…

■平成11年 6月 「男女共同参画社会基本法」成立  
 平成27年 8月 「女性活躍推進法」成立  
 平成27年12月 「第4次男女共同参画基本計画」成立

## 3. 県では…

■平成28年3月  
 「奈良県女性の輝き・活躍促進計画（第3次奈良県男女共同参画計画）」策定  
 →奈良県独自の女性の起業支援やイクメンの育成など

## 4. 奈良県・広陵町の主な指標

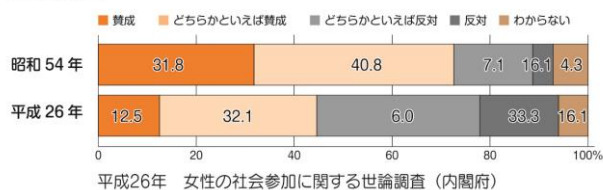
### 1. 女性の就業率（平成22年国勢調査）

全国平均 64.4%

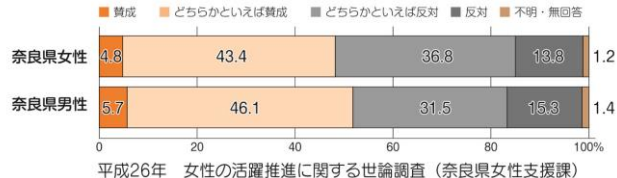
**奈良県 56.5%（全国最下位）**

### 2. 固定的役割分担意識…「夫は働き、妻は家庭を守るべきである」

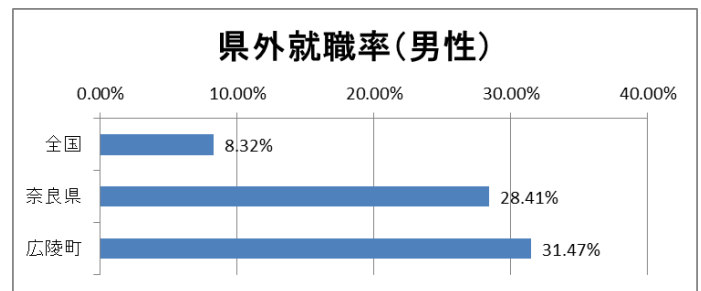
#### ～全国調査～



#### ～奈良県調査～

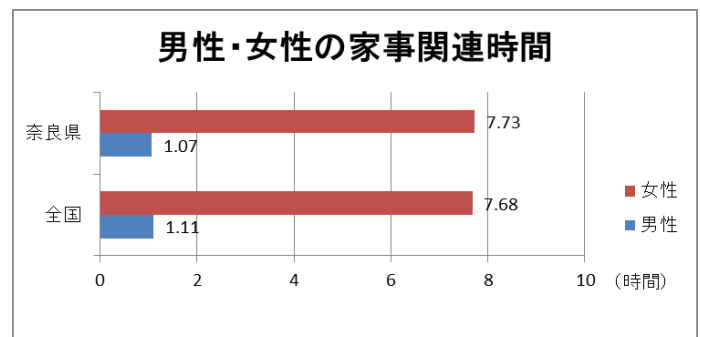


### 3. 男性の県外就職率（平成27年国勢調査）



### 4. 男性・女性の家事関連時間

（平成23年総務省統計局「社会生活基本調査」）



## 5. まとめ

大都市（特に大阪市）へ働きに出る人が多く、通勤時間が多くかかり、睡眠時間が減っている。  
 →家庭にいる時間が少ないため、夫の家事・子育て時間が少ない傾向にある。  
 →共働きや家事・子育てをできる環境が乏しく、合計特殊出生率（女性が生涯に産む子供の数）が低い。  
 全国平均…1.38 奈良県…1.29 広陵町…1.34 （平成20年～24年平均値：厚生労働省）